

2 令和6年度 本校の教育活動に関するアンケート結果の分析

(○成果と●課題)

- 項目2「リアルとデジタルをベストミックスした授業改善」の肯定率が高い。リアルでは、体験活動を取り入れたり、「ゆめタイム」(ペアやグループでの話し合い活動)を行ったりした。デジタルでは、インターネットを使って必要な情報を調べたり、アプリを使って情報の共有をしたり、EILSタイプイング検定やEILS計算検定・タブレットドリル等に取り組んだりした。リアルとデジタルのそれぞれの良さを生かし、効果的な場面を考え活用することができた結果であると考えられる。
- 項目4「ふるさと学習の充実」の肯定率が高い。各学年で、「ふるさと湯山」と関わる活動が取り入れられ、その中で多くの地域や保護者の方に協力していただきながら学習を進めることができている。こうした活動が、児童や保護者、教職員の「ふるさと湯山」を大切に思う気持ちを育てている。
- 項目8「安全な学校」の肯定率が高い。登下校の指導などでは、警察官や保護者、地域の方、見守り隊、SGL等のご協力をいただくことができている。また、地域や保護者の方からの情報提供も多く、すぐに対応できている。こうしたご協力や情報提供の元、教職員が普段からの指導を充実させることで、登下校においては交通事故などの大きな事案等が発生しておらず、安全な環境づくりにつながっている。
また、避難訓練と引き渡し訓練合わせて5回行った。今年度は、6月の引き渡し訓練、11月のシェイクアウトえひめの様子を湯山地区自主防災組織連合会の会長、副会長に見ていただいた。また、11月のシェイクアウトえひめの後、土砂災害を想定して、全校児童が4階に避難する垂直避難訓練を初めて行った。保護者と地域と学校が協力して防災に向けて取り組むことで、安全な環境づくりにつながっている。
- 項目15「情報発信」の肯定率が高い。昨年度比でも7%上昇している。学校HPやMacメール、tetoru(今年度9月から活用)での情報発信が結果に反映したと考える。一方で、「前年に比べてHPの更新が少なかったように思います。」「HPが以前より読みにくくなった。」とのご意見をいただいた。HPの更新頻度や内容について確認し、より良い情報発信につなげていきたい。ただ、情報発信の仕事のウエイトが大きくなりすぎることを必ずしも良いとは考えていない。今後も児童を育てる業務により力点を入れていく。
- 項目5・27「人権・同和教育の推進」の肯定率が高い。委員会が、「いじめ0」の活動で、友達と関わり方について呼び掛けたり、友達の優しさを集めて「思いやりの木」を作ったりするなど、学校全体で温かい雰囲気づくりを進めることができている。また、毎月生活アンケートを行ったり、必要に応じてカウンセリングを行ったり、児童や保護者からの相談に乗ったりして、いじめの早期発見、早期解決のために組織的な対応を行っている。こうした活動が、人権意識の高揚につながっていると考える。
- 全体的に児童・教職員ともに肯定率が高い。また、保護者も「分からない」を除くと肯定率が高い。今年度の活動の成果を実感している結果だと捉えている。
- 保護者の「分からない」の項目では、特に17「小1プログラムや中1ギャップの解消」・18「関係園・中学校との連携」が30%と高くなっている。
幼保小連携における子ども同士の交流や教職員間のコミュニケーションは、主に1年部や特別支援コーディネーターが窓口とはなる。また、小中連携における子ども同士の交流や教職員間のコミュニケーションは、主に6年部や特別支援コーディネーターが窓口とはなる。それ以外の担当者間のコミュニケーションは、校長間・教頭間・教務主任間・研修主任間・生徒指導主事間・特別支援コーディネーター間・養護教諭間・事務職員間で、頻度の違いはあるものの図るよう努めている。
8月6日には愛媛大学の城戸茂教授による「小中連携の必要性と今後の連携」について、湯山小学校・湯山中学校で合同の研修も行っている。

しかしながら、今回の教職員アンケートにおいて、「やや思う」の回答数が多いものの「思う」の回答数が少なく、「思わない」と回答が見られることが課題であると捉えた。

引き続き、教職員の意識を高め、幼保小連携や小中連携を自分事として考え活動に取り組めるようにしていきたい。また、保護者や地域に対して、積極的な情報発信もしていきたい。

- 今年度も Web 回答によるアンケート調査を実施した。今年度の回答率は 39.6%（昨年度の 42%から微減）であった。回答率を高め、より多くの意見が数値に反映されるようにするために、学校だよりや学年だより、HP 等を積極的に活用しながら、保護者等への理解啓発を図っていきたい。
- ○保護者・児童ともに、項目 21「学校や家で進んで読書をしている。」の肯定率が低い。図書委員会や図書ボランティアの方による読書イベントを行ったり、みきゃん通帳の活用をしたりするなど読書推進の活動を進めてきている。特に顕著な月として、10月の学校図書館の読書量は昨年度比 140%、11月は 131%、1月は 234%と増加している。これからも、保護者に児童を励ましていただきながら、児童の読書活動が充実するようしていきたい。

3 保護者自由記述より（○…良いと思うこと、●…改善してほしいこと、→…今後の対応）

お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございます。また、たくさんの貴重なご意見もありがとうございました。

保護者の皆様のご意見・ご感想、学校関係者からの意見を真摯に受け止め、全教職員で共通理解を図り、できることから改善に取り組んでまいります。これからも、保護者や地域の方々から信頼される開かれた学校づくりに努めてまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

学習や授業に関すること

- 子どもの精神状況、ペースを考えて授業に取り組んでくれている。
- 発想力及び向上心を高める独創的な授業と課題があって良い。
- 総合学習で、様々な経験をさせてもらい、子どもの興味や視野がちょっとずつ広がっているなど感じ、ありがたい。

● 朝学習とは何なのか。休憩時間に朝学習などでできなかったプリントをするはなぜなのか。

→ 平素から楽しく分かる授業づくりに努めることに加え、単元の学習終了後も定着しているかどうかを確認していくことは大切です。そこで、昨年度の教育課程検討委員会で検討して校時間帯を見直し、本年度より水曜日の朝の時間に学習タイムを設け、学力向上を図っています。個に応じた指導のために、休み時間などに個別で声掛けすることもあります。しかし、過度な負担とならないよう個々の様子を見て、配慮させていただきます。気になることがございましたら、個別にご相談ください。

● タブレットの動作が遅く処理能力があまりよくないように思うので、スペックが上がれば良いと思う。

→ 松山市教育研修センターによれば、令和7年度中にタブレットを入れ替える予定で、今よりも使いやすくなるようすることです。

● ささのこでは「学習量が少ないのではないか。」と思うことがある。子どもの集中力などを鑑みてのことではあるのかなと思うが、もう少し宿題を多くしてもいいのではないかと思う時がある。

→ 個々のニーズに合った支援で学習を進めていくことができるのが、ささのこの良さだと考えています。また、本人の状況や保護者の願いを聞きながら進めていくことが大切ですので、個別にご相談いただければと思います。

● 理科の自由研究を提出したが、コメントや先生の印がなく、そのまま返却された。子どものやる気を知る、やる気を持続させるような返却にしてほしい。

→ 児童が互いの研究作品を読み合う時間を設け、児童同士で模擬審査をして投票したり、教員の講評を伝えたりしています。しかし、返却の仕方については、少なくとも印を押すなど善

処してまいります。

学校行事に関すること

- 参観や運動会など、大変と思いますが定期的にあり、子どもの様子を見ることができ、嬉しく思う。
- 参観日が子ども主体で楽しそうで、保護者も楽しかった。
- 授業参観などは大変楽しく参加させていただいており、先生方にありがたく思うことも多い。
- 運動会の色が2色になったことに賛成です。来年度は完全に2色で良いのでは。放送や得点がこんがらがりに思った。

→ 来年度も2色で運動会を行います。しかし、リレーで2チーム対抗になると、代表児童が減る場合があること、勝ち負けがはっきりし過ぎてしまうことなどのデメリットも考えられ、教員から様々な意見が集まっているところです。より良い運動会となるよう検討してまいります。

- 懇談会など今後ウェブの活用をしていただけるとありがたい。

→ 懇談会においては、友達関係のご相談などもあり、個人情報の保護や二次利用での拡散なども心配されます。今後も対面で行うことを基本とさせていただきます。

- 懇談時にプール横に駐車して行かれてる保護者が多い。守って交通機関利用されてるかた、自転車徒歩等で行かれてる方からしたら良い気がしない。案内時に記載されているにも関わらずルールを守らない方が多い。

- 参観日や懇談会で、お知らせをしても周りのお店などに駐車している方がいるようだ。遠方の方やお仕事の都合がある方もいらっしゃるの、運動場を解放するなど何かしら対策をしたほうが良いのではないか。

→ 1月31日、tetoruで既に回答しましたとおりです。

懇談会や参観日には、「学校へは、自転車・バイク・徒歩・バス等でお越しください。」と案内させていただいています。教職員が外に立ち誘導する対応は、修学旅行や集団宿泊訓練等特別な場合を除いてはできかねます。また、運動場の開放については、過去に一旦運動場を開放した時期があったそうです。しかし、車の台数が一気に増え、すべての車が止められない状況となり、許可証を出す対応に変更したものの、早い者勝ちで不公平であるとの苦情があり、学校で対応しきれなくなったとのことです。その結果、PTAと学校が協議して運動場の開放を取りやめました。

このような経緯から、車での来校を極力控えていただくことを原則とさせていただきたく存じます。懇談会や参加日等の学校行事では、今まで通り自転車・バイク・徒歩・バス等での来校をお願いいたします。なお、特別な事情がある場合には、学級担任に相談いただき、事情に応じて臨時駐車許可証を発行させていただくなどの対応をさせていただきます。ご理解、ご協力をお願いいたします。

- **新たな事を決めたり、始めたりする時はそのときに保護者にも意見を聞いてほしい。**
- **自主的な事から言うと、高学年になると個々の考えも芽生える時期だと思うので行事等に関して意見を聞いてほしい。**

→ 今年度の行事の変更点（運動会の2色開催、湯山っ子まつりの中止、朝学習を取り入れた校時帯等）の多くについて、昨年度の話合いにより決定していたものです。しかし、児童や保護者に理解が得られるような学校からの発信が不足しておりました。来年度の行事については、今年度3学期に行った令和7年度の教育課程検討の段階で、PTA役員と協議をしたり、学校評議員の意見をいただいたりしながら、決定しました。

令和7年度での変更点は、大きく3点です。

① **引き渡し訓練の4月実施**（今年度6月実施）

早い時期に行い非常変災等への対応を万全にするためです。また、例年4月のPTA総会後は児童を迎えに来ていただいているので、引き渡し訓練と合わせて行う方が良いでしょうと考えました。

② **9月参観日の中止**

昨年度、猛暑の中での参観日となり、保護者の方で体調を崩される方もおられました。PTA運営委員会でも議論していただき、9月の参観日は実施しないこととします。

③ **人権参観日の11月実施**（今年度6月実施）

愛媛県では、11月11日から12月10日までを「差別をなくする強調月間」としています。この期間に、人権に関する啓発活動を実施して、県民の意識を高めることを目的としています。本校でも令和7年11月20日（木）に人権参観日を行い、人権意識を高めていきたいと思っております。

ご協力よろしくお願いいたします。

● **湯山っ子祭りをしてほしい。**

→ 第2学期には、9月造形大会、10月運動会、連合音楽会（5年）、市総体（陸上の部）など多くの行事があります。造形月間、運動会の特別時間割に続いて、音楽会特別時間割を組むと児童も落ち着けない状況が続きます。学力保障の面から、落ち着いて教科指導を行い、こつこつと学ぶ時間を確保することも大切です。PTAも食べ物を扱うバザーは考えていないとのこと。そうしたことから、湯山っ子まつりを行うことは難しいと考えます。学校評議員会やPTA運営委員会でも、この点ご同意いただいております。

● **ペーパーレスを推進しているのはわかるのですが、毎月の行事予定だけでも配布してほしい。**

→ 2月からはデータと紙媒体で「月行事予定」を配布させていただきました。変更があった場合は、totoru とHPでの発信のみとします（紙媒体での配布はしません）ので、すでに配付している紙媒体に朱書きするなどのご留意をお願いいたします。

生徒指導等に関すること

○ **問題が起きた時に複数の先生で対応して下さるので、先生方でも情報共有して下さっていると安心感がある。**

→ 見えにくいとは思いますが、心配な事案の情報は、学級担任、学年主任、生徒指導、教頭、校長で共有され、ベストな対応を協議して担当窓口を決定し、丁寧に対応することに努めております。

● **児童によって指導基準が違う先生がいらっしゃるようなので、基準は統一してほしい。**

→ 生徒指導に関する事項は、全教職員で共通理解し、同じように指導していくようにしていますが、細かな部分につきましては、その都度擦り合わせております。特に例外的な対応の依頼については全体で協議し、対応しております。もし、具体的な事例で心配なことがありましたら、個別にご相談ください。

学校安全・保健等に関すること

○ **子どもの体調や怪我、学校での出来事について、些細なことでも連絡をしていただけて、とてもありがたく思っている。同時に、先生方の負担も多いと思う。**

● **感染症の実数など、その日その日の状況を病院に行く時に、電話で聞くしかないのは不便に思う。**

● **インフルエンザやコロナなど、校内で流行っている感染症などについての連絡をいただけるとありがたい。**

→ 学級閉鎖などの対応を取った際には、Mac メールで全校に伝える方針です。また、感染が広がっている状況が顕著な場合は、HP等で警戒するよう呼び掛けていく方針です。今年度本校は、現在のところ感染症が全く多発することなく過ごしてきた結果、このような発信が少ない状況となっております。保護者の皆様のご協力のおかげと心より感謝しております。

● **和式トイレを洋式トイレにしてほしい。**

→ 松山市教育委員会によれば「現在、教育委員会が施設の老朽化が進んでいる学校から、計画的に校舎等の改修を行っており、その中でトイレの洋式化等も行っています。」とのこと。

登下校に関すること

○ **先生方が朝早くから生徒の登校を見守って下さっている。**

→ 教職員の他に、警察官や保護者、地域、見守り隊の方など多くの方が見守って下さっています。大変有難く思います。

● **登校時の班行動の徹底をすると良い。**

→ 町別児童会や班長会で、登校の仕方等を確認していきます。また、3月より新しい班に変更となっておりますので、班長や副班長の役割について改めて確認をし、安全に登校できるようにしていきます。

● **〇地域で挨拶できる子どもが減っているように感じる。**

→ 登校時に正門で挨拶をしたり、校内で会釈をしたりする様子は、4月当初に比べて断然改善が見られ

ます。本校教職員も強い手応えを感じており、来校される地域の方からもお褒めいただいているところ
です。こうした様子が地域への挨拶につながるよう声掛けを続けていきたいと思ひます。ご家庭や地域
での声掛けもどうぞよろしくお願ひいたします。

その他（学校生活全般）

- 細やかなフォローをしていただけて、親としても相談しやすい。
- 子ども一人一人をよく見てくださると懇談でお話を聞くと思ふ。
- 毎日のように担任の先生のお話をしてくれる。毎日おもしろいそうだ。親として子どもがそういう姿であるのは何よりうれしいことである。
- 子どもが頑張っていることを、先生方が認めて声をかけてくださるおかげで、子どもたちは自信を持って前向きに学校生活を送っている。
- ささのこでは先生方が手厚く見守ってくださり、安心して通学できている。
- 男女関係なく仲良く活動していると感じている。
- 楽しそうに毎日通ってくれている。
- 1年生ということで、保育園との違いの大きさに戸惑うばかりで、どうしても学校の情報が子どもからの話し中心になり、学校の実態は把握し切れてはいない。

→ 日々の気になることは、「連絡カード」や計画帳、電話連絡等でお知らせするようにしております。また、1学期に毎週配布している「学習計画」や学年だより、HPで学校の様子を伝えていきたいと思ひます。お子様のことで心配なことがありましたら、個別にご相談ください。

- 学年が変わるとこれまで担任として接して下さっていた先生が全く関わらなくなり、支援が途切れてしまう。仕方がないのかもしれないが、保健教諭や管理職の先生を中心に、全員でその児童に関わる（特に問題を抱えている児童は）ようにしていただけると保護者もとても安心できる。

→ 進級時に向けて、旧学年担任が引継ぎ事項を整理し、新年度、留任の教員で詳細な引継ぎを行っています。また、進級時だけではなく、普段から教職員間での情報交換を密にし、自分の学級学年を越えて関わりを大切にしていこうようにしております。ご心配なことがあれば、個別に現学級担任等にお伝えください。

- 今年は前年に比べてホームページの更新が少なかったように思ひます。もう少し各学年の生活の様子を知りたいので更新していただきたい。

→ 各学年で1週間に1回は日記を更新していくようにしているが、更新期間が開くことがありました。確実に更新できるよう確認していきます。また、読みやすく伝わりやすい内容になるように努めていきます。ただ、情報発信の仕事のウエイトが大きくなり過ぎることを必ずしも良いとは考えておりません。児童を育てる業務に力点を置いてまいります。

- 給食のときは、机の向きを変えてグループで食事するようしてもらいたい(食事しながらのコミュ

ニケーションや他の子の食事の様子を見ることも学びの機会となると思うので)。

→ 感染症が流行している時期には、グループでの食事は難しいと考えます。現在、前を向いて食事をすることにより、食事のマナーを守ったり、時間内にしっかりと食べたりできています。これからも給食の時間を、食事の仕方やマナーを学ぶ場として充実させてまいります。食事をしながらのコミュニケーションなどは、遠足など機会を捉えて行ってまいります。

● 体育の時間に、夏場は肌着も脱いでいるようなことを聞いた。その理由が知りたい。また、脱ぐ脱がない関係なく、男女同じ教室で着替えるのはやめてほしい。

→ 年度当初に校内で、肌着を無理に脱ぐ指導はしないことを共通理解しておりましたが、確認をしましたところ指導していた学年がありました。再度、無理に肌着を脱ぐ指導を行わないことを共通理解しました。今後は徹底してまいります。1、2年生では、学級担任が見取り着替え方などを指導するため同じ教室で着替えています。児童の成長に合わせて、男女別に着替えるようにしてまいります。